

今大会における競技・審判上の共通注意事項

競技委員長 加藤 勉

審判委員長 及川千春

1. 大会運営・観戦のお願い

- ・ ご来場の皆さまは、ID カードを携行し、首から提げるようにお願いします。
※大会の周知事項を認識しているという証明および不審者対策
- ・ 帯同役員集合は、8:30 とします。

2. コートでの練習

- ・ フロアへは、登録された選手とベンチ役員のみ降りることができます。
- ・ 練習場所として、第二体育室を開放します。第1試合のみ試合前練習を10分間設定する。以降は追い込みとする。
- ・ 試合間の練習はボールを使用しても良いが、ネットを使った練習はできません。
- ・ 壁に向けてのボール打ちは禁止とします。

3. 試合時の行動

- ・ 選手は試合中、ワイピングタオルをコート内の選手が1名以上持ち、汗等で濡れた床を拭くこと。
- ・ セット終了時、コート内の選手はエンドラインに整列後、コートチェンジを行い、控え選手とベンチスタッフはチームの荷物を持ちコートチェンジを行う。
- ・ 給水用のボトルを入れるかご等については必要最小限の大きさにし、大きなワゴン(キャンプカート等)については、選手の安全を守る視点からベンチの横に置かないこととします

【セーフティータイムアウト(STO)について】

- ・ 2026年度よりテクニカルタイムアウト(TTO)は廃止となり、セーフティータイムアウト(STO)に移行
- ・ 本大会では各セット1回のSTOを適用する。1・2セット目は11点、3セット目は8点に達した時に適用
- ・ 第1・第2セット:両チームが31点に達したときに適用し、以降は両チームが10点ずつ積み重ねた段階で適用する。
- ・ 第3セット:両チームが21点に達したときに適用し、以降は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。
- ・ 選手はベンチ横からウォームアップエリアの間の位置に30秒間とどまること。
- ・ STO中は、ウォームアップはできない。
- ・ ベンチスタッフの声かけは、健康観察のためのものである。

【監督の試合中の行動について】※令和8年度検証中

- ・ 監督は、自チームのアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。この時、ラインジャッジの視界を遮ってはならない。

【センターラインについて】※令和8年度検証中

- ・ 相手コートに侵入している片方の足(両足)の一部が、センターラインに触れているかセンターライン真上にあれば、この動作が相手チームのプレーを妨害しない限り、足首よりどの部分が相手コートに触れてもよい。
- ・ ベンチでのうちわの使用はタイムアウト・STO・セット間のみとする。
- ・ 選手は試合中、ワイピングタオルをコート内の選手が1名以上持ち、汗等で濡れた床を拭くこと。モップがけは強制ではない。
- ・ 最終試合のチーム、補助役員のチームは会場の片づけの協力をお願いする場合があります。

4. 会場での行動

- ・ 公共施設のご厚意でお借りしている場所であることを認識し、使用上の注意を十分に守ること。
- ・ 選手の着替えは会場で定められた更衣室を使用し、保護者が必ず付き添うこと。
- ・ 各チームの横断幕とのぼりの掲出は、試合時のみとする。
- ・ メガホンを使用する場合は、各チーム一つまでとする。※60cm を超える大きいものは不可

5. その他

- ・ 大会当日については会場責任者の指示の従うこと。
- ・ チーム名板(A4 サイズ)とラインジャッジフラッグは各チームが準備し管理する。
- ・ 会場で出たごみは、必ず各チームで持ち帰ること
- ・ 体育館前の第 1 駐車場は使用できません。都立砂川高校側にある第 2 駐車場をお使いください。利用する場合は、フロントガラスにチーム名を表示し駐車してください。**駐車できる台数は 2 台までです。**
- ・ トイレは、第 1 体育室は 1 階フロアおよび、2 階観客施設に、第 2 体育室は、体育室脇にあります。体育館側から、利用するみなさんへ周知依頼があり、記載しています。

体育館使用に際してはお借りしているということを忘れず、使用上の注意を厳守しましょう。

お互いが気持ちよく試合ができるように、協力しましょう。